

令和7年度生育モニタリングの生育状況(宮城県古川農業試験場)

(令和7年7月2日現在)

1 生育状況

1) 移植栽培																	
品種名	耕種概要					生育状況(7月1日現在)										参考	
	播種日 (月/日)	苗の種類	移植日 (月/日)	栽植密度 (本/㎡)	基肥 (kgN/10a)	草丈		茎数		葉色		葉数		幼穂長		幼穂形成期	
						本年値 (cm)	前年比 (%)	本年値 (本/㎡)	前年比 (%)	本年値 (GM)	前年差	本年値 (枚)	前年差 (枚)	本年値 (mm)	前年差 (mm)	本年値 (月/日)	前年値 (月/日)
だて正夢	4月15日	稚苗	5/9	18.5	5.0	66.2	(119)	534	(100)	41.2	-(1.4)	10.1	(0.5)	0.1	(0.1)	7月10日	
金のいぶき	4月15日	稚苗	5/9	18.5	5.0	64.4	(126)	585	(93)	38.7	-(0.6)	10.5	(0.5)	0.1	(0.1)	7月13日	

2) 直播栽培

品種名	耕種概要					生育状況(7月2日現在)							
	種類	播種方式	播種日	播種量※ 乾燥籾(kg/10a)	基肥 (kgN/10a)	草丈		茎数		葉色		葉数	
						本年値 (cm)	前年比 (%)	本年値 (本/㎡)	前年比 (%)	本年値 (GM)	前年差	本年値 (枚)	前年差 (枚)
ひとめぼれ	乾田直播栽培	グレーンドリル鎮圧	4月9日	5.4(+0.3)	11.0	49.7	97%	608	85%	38.7	1.7	8.3	-1.0

※1「乾田直播栽培」は平年値がないため前年値との比較

2 栽培管理等

1) だて正夢

- ・倒伏判断指標に基づき減数分裂期に窒素成分2kg/10a追肥を実施し、整粒歩合の向上を図る。
- ・有効茎数不足(穂数不足)が予想される場合は、幼穂形成期と減数分裂期に窒素成分1kg/10aずつ施用する。
- ・病害虫防除は、「ひとめぼれ」に準じて行う。

2) 金のいぶき

- ・減数分裂期の葉色値(SPAD502値)を30～32程度に維持するため、幼穂形成期(幼穂長1～2mm)に窒素成分で1kg/10a程度、減数分裂期(幼穂長30mm～120mm)に窒素成分で1kg/10a程度追肥する。
- ・いもち病に弱いので、殺菌剤系の箱施用剤と水面施用剤、出穂前の茎葉処理材による3回防除を基本とする。

3) 乾田直播

- ・基本的に中干しは不要だが、過繁茂の場合は軽めに中干しを行い、その後間断かん水に移行する。
- ・基肥一発肥料を施用している場合は基本的に追肥は不要だが、生育量が少ない場合は幼穂形成期から減数分裂期に1～2kgN/10a施用する。
- ・いもち病防除を実施していないほ場では、早めに予防防除を実施する。
- ・紋枯病の多発が予想される場合は、薬剤防除を実施する。

<次回: 令和7年7月18日予定>